



着工間近い総合市庁舎

新庁舎の最終設計がこのほど完成し、いよいよ近く着工することになり、さきごろ入札参加業者の指名が行なわれました。入札に参加するのは富士市庁舎建設企業体（石井組、遠藤建設、中村組、保坂組、井出組）、(株)竹中工務所、清水建設(株)、大成建設(株)、鹿島建設(株)、(株)藤田組、戸田建設(株)、三井建設(株)、安藤建設(株)の9社です。

この現地説明が11月2日行なわれました。また、11月14日柔剣道場（吉小南）で入札が行なわれ、待望の新庁舎建設に第1歩をふみだします。

庁舎用地26,400平方メートルには、本館、消防棟、車庫のほか、市民広場、公園広場などもつくられ、市民サービスの向上はもとより、市民のいこいの場所としても利用できるように、設計については十分配慮を行ないました。

〈写真は新庁舎の完成模型図〉

ページ案内

マンモス団地建設……………	2
市長表彰……………	3
公共施設めぐり……………	4
おしらせ……………	6

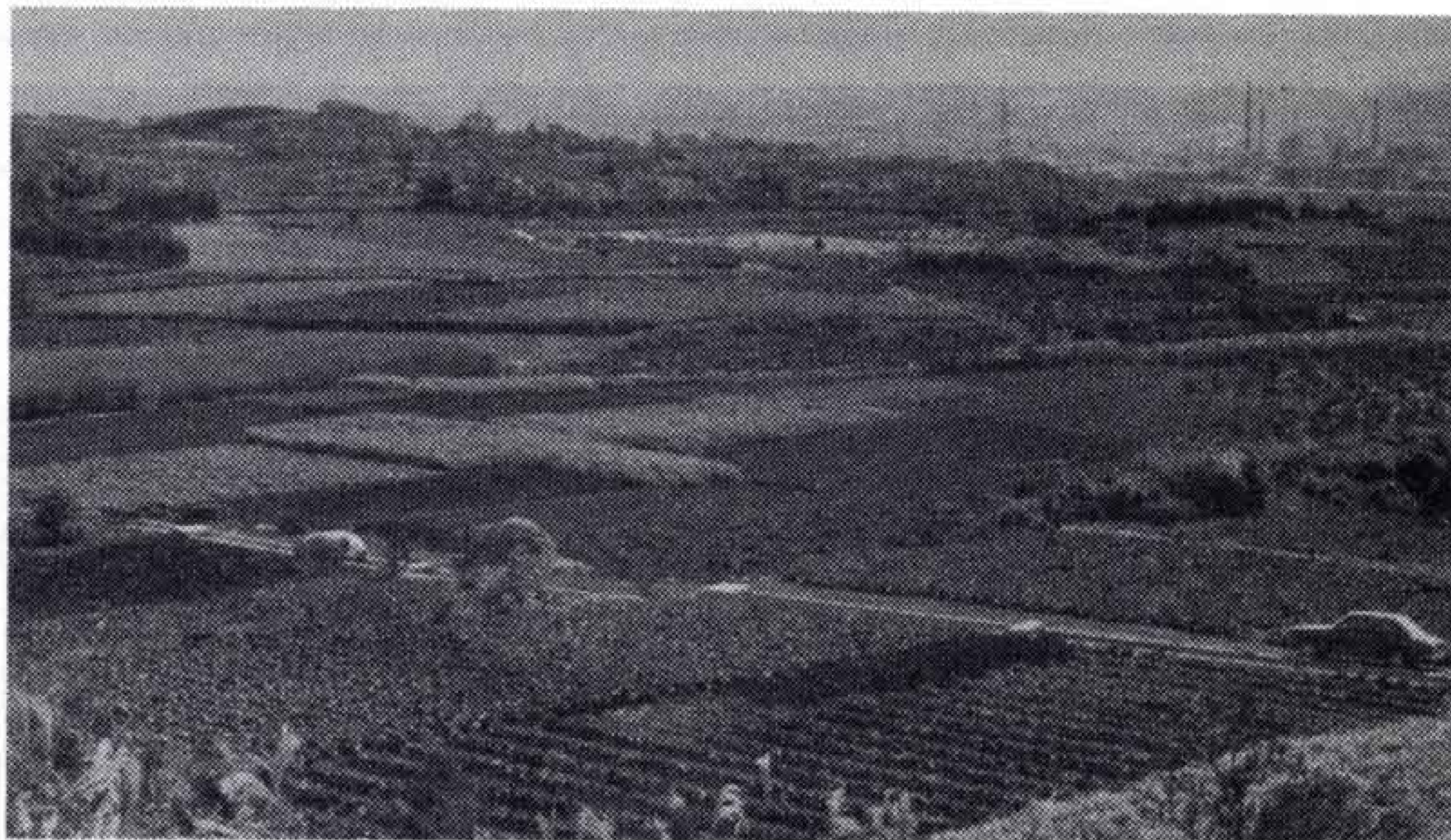
県下最大のマンモス団地 三ツ沢地区に建設

静岡県は、市内原田、三ツ沢地区に県下最大の住宅団地づくりを計画し、10月30日、この説明会を市立原田小学校で行ないました。

計画によると、面積は78万7,000平方メートルで、収容人員1万人という大規模なもので、浜松市の遠州浜団地を上回る、県下最大のマンモス団地になります。

この工事は43年度から用地買収をはじめ、46年度には一部分譲をはじめ、完成は50年の予定です。

それでは、建設計画の概要をみましょう……。



用地面積は78万平方メートル 10,000人を収容

さいきん、産業と人口の急激な都市集中化、世帯の細分化などにより、住宅需要がいちじるしく増加しています。

とくに富士市は、田子の浦港の拡充整備にともない、背後への諸企業の進出がめざましく、住宅の需要が大幅に増えています。こうした住宅不足の緩和と、新しい計画的な都市づくりをはかるため、こんどの計画がたてられたものです。

マンモス団地のつくられる原田、三ツ沢地区は、標高115メートルから150メートルの富士南ろくのゆるやかな丘陵地で、眼下に駿河湾を見おろし、遠く伊豆の連山が望める景勝の地域です。

位置は吉原市街地から1.5キロメートル、国道1号線から2.6キロメートル、東名富士インターチェンジから4.5キロメートルのところであり、すぐ西側を県道吉原勢子辻線が通っています。

3年後には分譲開始 公営住宅1600戸を

それでは、県が示したマンモス団地造成計画をみましょう。

建設計画案によると、用地面積は78万7,000平方メートルで住宅の建設計画戸数は2,810戸で、人口は1万人を見込んでいます。

このうち、個人住宅地は用地面積の34パーセントにある26万9,000平方メートルで、住宅1,196戸（1戸220平方メートル）がつくられます。また、共同住宅地は18パーセントにあたる14万5,000平方メートルを占め、

1,614戸（1戸90平方メートル）つくられます。

道路は、団地の中央に幹線道路がつけられるほか、幅員5メートルから15メートルの道路が従横につくられます。この用地として全体の22パーセントにあたる17万6,000平方メートルがあてられています。

このほかの共公用地として次のようなものが計画されています。

公園用地には1万6000平方メートルを予定して5カ所につくられます。上水道については市営水道を引きますが、配水池をつくるための用地5,000平方メートルを予定しています。下水道についても、終末処理を設置して処理する計画で、用地5000平



方メートルがあてられています。また「緑の町づくり」になくはならない自然緑地に、用地の約10パーセントにあたる7万7000平方メートルがあてられています。

教育施設としては幼稚園2園、小中学校各1校がつけられるほか、保育園もむろん設置されます。また、ショッピングセンターも2カ所につくられるほか、バスターミナルもつくられます。

この工事の施行計画は、43年度から44年度にかけて土地買収を行ない、44年から土地造成をはじめ、46年度ころには土地分譲を行なう予定になっています。

佐野熊次郎さん(地方自治功勞)ら9人が受賞

第2回富士市長表彰

富士市表彰条例にもとずく、第2回市長表彰が11月1日、吉原市民会館で行なわれました。

表彰を受けたのは、地方自治の発展に功績のあった、佐野熊次郎さんら次の9名の人です。

地方自治功勞

佐野熊次郎さん



(吉原本町一・67歳)

警防団長、教育委員など各種の公職を歴任され、この間、県製紙工業試験場や吉原保健所、吉原職業定安所の誘致に大きな貢献をされました。また、吉原不燃化都市建設促進協議会を結成し、今日の吉原本町商店街繁栄の基礎づくりに尽くされました。

産業功勞

田村由作さん



(三日市・71歳)

昭和11年に明治製紙株式会社を設立してから、一貫して地域産業の発展に貢献されました。この間、県ちり紙工業組合理事長、全国ちり紙工業組合理事長などの要職を歴任し、ちり紙生産の実績をあげ、郷土産業の発展に寄与されました。

佐野富男さん



(水戸島・61歳)

昭和30年に丸富製紙株式会社を設立してから、洋紙、板紙にくらべて立ち遅れている白ちり紙の改良、生産向上につとめました。ちり紙抄造技術に着手し、新しいパルプの蒸解工法、経済的合理的な化学粘剤の使用法などを研究されました。

保健衛生功勞

中井林作さん



(吉原本町二・68歳)

43年間にわたり料理旅館業を営み、この間、昭和21年に吉原料理旅館業組合長に就任。食品衛生の向上、食中毒および消化器による伝染病予防のため、吉原食品衛生協会を設立して初代会長に就任し、環境衛生の向上に積極的な活動を続けてきました。

社会福祉功勞

菅原アサコさん



(吉原緑ヶ丘・58歳)

昭和21年から富士育児院(現美容会乳児院)の保母として、22年の長きにわたり、社会から見捨てられた乳児の保育に献身されてきました。その保育ぶりは、また施設の保母としての模範です。

川村きよさん



(鷹岡本町二・75歳)

昭和26年に鷹岡町婦人会長、同未亡人会長におされてから、地域の婦人会および未亡人会のために活躍してきました。さらに、昭和31年に富士郡未亡人会長、昭和41年には県母子福祉会長の要職を歴任し、会員の生活向上と更生指導に尽くされてきました。

山本真夫さん



(伝法町二・61歳)

水火災防護功勞

昭和22年に伝法水防組員になってから21年間にわたり、本市の水防のために尽されてきました。特に、台風期の水害に対しては、身の危険をかえりみず、災害救護と組員の指揮にあたってきました。

深沢恒夫さん



(鷹岡本町一・67歳)

岳南2市1町合併にいたるまでの20年の長い間、消防団の副団長、団長など幹部としての要職を歴任し、団員の資質向上と団結力の育成につとめてきました。また、地域消防の強化に貢献されました。

加藤重夫さん



(蓼原・61歳)

昭和7年に消防団員になってから岳南2市1町の合併にいたるまで、34年余りの長期にわたり災害防護にあたってきました。強い責任感と奉仕の消防精神は団員の模範でありました。

あなたの意見を市政に

施設めぐりに参加を 毎月第1・第3水曜日

公共施設を市民みなさんに実際にみてもらい、正しく理解していただくため、7月から「施設めぐり」を実施しています。

7月から9月までの3ヵ月間に18回の施設めぐりを実施し、436人が参加しました。参加した人の内訳は、老人クラブがもっとも多く11回で248人、婦人会が3回で82人、町内会が2回で33人、子ども会が1回で19人、その他の団体、個人が3回で54人となっています。

参加した人から市の政策や施設に対する要望や意見が次のようにだされました。

- 既存の産業公害防止を積極的にすすめてほしい。
- 田子の浦港の悪臭、ゴミをなくし「きれいな港」にしてほしい。
- 老人福祉センターを早く建設してほしい。
- 精神薄弱児(者)＝ふじやま学園など

の＝対策に一層の力こぶを入れてほしい。

- ゴミ収集の回数をふやしてほしい。し尿のくみ取りのメーターをわかりやすくしてほしい。
- 学校教育施設はすばらしくよくなった。
- 岩本山公園の整備と取り付け道路の建設を早くしてほしい。
- 国道1号線バイパスの早期建設はかってほしい。など、このほか多くの意見や要望がだされました。

市ではこうしたみなさんのご意見や要望を市政に反映

させていきます。

なお、公共施設めぐりは毎月第1、第3水曜日の2回実施しています。参加を希望する人は市長公室秘書課(本庁電話52-6111内線23・24)へ申し込みをしてください。申し込みは団体、個人でもできますが、団体の場合は19人以内にしてほしい。

案内する施設は勤労青少年会館、第1清掃作業所、ふじやま学園、岳南食肉センター、田子の浦港などです。

〈下水道処理場を見学する人たち〉



市民会館の結婚式

なんと3333組

高井さんカップルを 斉藤市長が祝福

吉原市民会館で11月30日に結婚式を行った高井勝彦さん(荒田島・23歳)芦沢孝子さん(厚原中・21歳)の新郎新婦に、斉藤市長からメッセージと記念品が贈られました。

これは、市民会館が昭和34年1月に開館してから、3,333組目のカップルが誕生したのに対し、斉藤市長が記念品を贈りお祝いしたものです。

ちなみに、今年市民会館で行なわれた

結婚式は200組で、いつもの年にくらべ約20パーセントも少なくなっています。これは今年が申(サル)年にあたるため、縁起をかついだため減ったのではないかと思われます。なお、ヒノエウマ昭和41年には457組の結婚式が行なわれました。



た。

昨年、富士市内で交通事故のために死亡された人は50人もあります。このうち保険金(50万円)の給付を受けたのは、わずか8人にすぎません。万一に備へひとりでも多く加入してほしいものです。

加入の手続きは、本庁交通課、各事務所市民課、各支所で行なっています。なお、11月に加入する人の掛金は150円です。

バラの鉢作りの コツ

バラの植え方、育て方はすでにのべましたので、この号ではハチづくりのコツを教えましょう。

まず、ハチは小さめのものを使います。元肥に根が当たらないようにして、つぎ目がかくれるように土をかけます。元肥がないときはたい肥か腐葉土を土とよく混ぜて植えてください。

ハチ穴から根が出てきたら、土ごと抜いて大きなハチに植えかえます。植えかえるときハチと土の間に過燐酸石灰、草木灰を補給してください。

病虫害の予防は、ウドンコ病には1ヵ月に2～3回石灰イオウ剤を。黒点病には冬の間石灰イオウ剤で消毒するか、3月以降にタイセンで消毒を。アブラムシにはマラソン乳剤を。バラクキバチとカミキリ虫にはそれぞれBHC粉剤を4月と6月に散布してください。

市民交通傷害保険に 加入しよう

みなさんは、市民交通傷害保険に加入しましたか。この保険は、1年間にわずか360円(1ヵ月30円)の掛金で、1人でも多く加入することによってお互いに助け合う制度で、昨年4月に発足しまし

内野哲一ちゃんら 30人を 優良乳幼児で表彰

市は、昭和43年度の健康優良児表彰を10月26日、吉原市民会館で行ないました。

この審査に参加したのは、昭和42年4月から43年3月までに生れた赤ちゃん約2,000人。審査は8月から始められ、第1次審査は17会場にわかれて行なわれました。この地区審査で選ばれた赤ちゃんは書類による第2次審査を受け、さらに第3次の審査を受けました。3次審査で選ばれた優秀な赤ちゃんについて、最終審査を行ない30人(男20人、女10人)の優良児が選ばれました。

審査にあたった医師会の先生は「お母さんの愛情がよく感じられ、審査に参加した赤ちゃんはみんな優秀なので選ぶのに苦労しました。赤ちゃんの体位は年々向上していますが、他地区によくみられる肥満児が富士市には少ないのが目につきました。これもお母さんがたの正しい保育のたまものでしょう」と語っていました。

なお、健康優良乳幼児に選ばれた30人の赤ちゃんは次のとおりです。()内は保護者名です。



〈写真は最終審査を受ける赤ちゃん＝富士保健所で〉

内野哲一(川成島・哲郎)、藤田正敬(駿河台・進)、高橋崇弘(下横割南・宏典)、長橋由美子(田子・良)、中村美保子(今井本町・喜久男)、井口純(久沢東・正明)、川口弘樹(中比奈1・恭弘)、後藤道泰(中里町2・篤三)、豊島伯江(天間川坂・一夫)、佐野喜代美(神戸町2・常夫)、角輝彦(旭化成社宅・重雄)、中村友紀(大野町・藤男)池田文英(富士岡2・好幸)、山本邦夫(西仲町・剛己)、佐野里佳(柳島・重利)、名取明美(本市場・正幸)、川崎浩(十兵衛南・徹)、田中裕典(今井本町・一光)、成田克則(原田本町・茂)小泉茂樹(新橋・隆)、原健一(柳島・勇)宇佐美戈司(本市場・修一)、佐野美佐緒(久沢西・一三)、潮田修司(広見町・勝雄)、石井文昭(荒田島1・俊隆)望月克典(久沢西・一字)、多田静香(東芝社宅・重喜)、五郎丸浩一(吉原仲町・了右)、杉山京子(下横割北・亀男)杉山正昭(神戸2・勝夫)

市長から感謝状

塚原さん
林さん
古谷さん

齊藤市長は、11月2日、環境衛生管理で大臣表彰を受けた塚原広さん、林玄嗣さんと、働く主婦の横範として古谷まつ枝さんに対し感謝状と記念品を贈りました。



塚原 広さん

(住吉町・66歳)

多年にわたり市民の健康づくりに深い関心をよせ、他の自治体に先馳けて「環境衛生自治推進協議会」を結成し、会長に就任するとともに、カトハエの追放運動を積極的におしすすめてきました。なお塚原さんは、さきごろ厚生大臣表彰を受けられました。



林 玄嗣さん

(東比奈町1・60歳)

中小企業に働く市民の福祉向上、体位の向上をはかるため、吉原給食事業組合を組織し、理事長に就任するとともに、施設の衛生管理と事業の健全運営に力を尽してきました。なお、林さんはこうした功績により、さきごろ労働大臣表彰を受けられています。



古谷まつ枝さん

(新迫町・50歳)

終戦直後から21年間にわたり市民に新聞を送りつづけるとともに、家庭の主婦として家族の平和と、健康を守りつづけてきました。なお、古谷さんには、さきごろ新聞配達員としての使命と、責任を全うされたことに対し、静岡新聞広報賞が贈られました。

国民年金の相談は

地区年金委員に

吉原地区、鷹岡地区の国民年金委員についてはすでにお知らせいたしましたがこの号では富士地区の委員を掲載します

国民年金保険料の納入などでわからないことがありましたら、各年金委員または市年金課(吉原事務所)へご相談ください。

〔富士地区〕

武井やす(本市場2区)望月はつえ(国久)青山とし子(川原宿)柏森はつ(藤間)矢崎文子(南本田)山田八枝(五味

島)田中てる子(松本)渡辺節子(新道町)池谷さだ江(柚ノ木)和田光世(平垣3)渡辺清子(平垣八幡)伊藤登志子(本町)渡辺竹子(中町)志村幸三(十兵衛南)大石桂一(下横割南)四条勝男(下横割北)大芝定雄(水戸島上)渡辺弘(水戸島中)石川要範(水戸島下)田村佐太郎(森島)山田六郎(柳島)大竹弘司(新田助六)野中俊雄(西宮島)齊藤久米男(下五貫島)石黒定義(三四軒屋)味岡勝男(中丸)佐野房吉(田子)村瀬利三九(鮫島)若林吾三九(前田)船山辰雄(浦町)加藤弁次(新町)島道禎作(四丁河原上)高橋伍郎作(四丁河原下)佐野亀太郎(富士上町)影山和作(滝戸)

おしらせ



勤労青年会館で 開館1周年行事

…11月15日から3日間…

勤労青少年会館は、開館1周年を記念して、11月15日から3日間、次のような行事を行ないますのでみなさん多数お出かけください。

■展示会 (15日から17日まで)

華道、ペン習字教室などの作品が出品されます。

■卓球大会(15日午後5時から9時まで)

競技に参加できるのは、会館の利用証を交付された人だけです。

■ダンスパーティ (16日午後6時から)

フォークダンスと社交ダンスを楽しむ会です。

■茶道と軽食と映画会 (17日午前10時から午後3時まで)

茶道教室、料理教室の発表会と映画上映が行なわれます。

精神薄弱者の巡回 相談ひらく

…11月14日・富士保健所で…

精神薄弱者の巡回相談が次のように開かれますので相談ごとをおもちの人はおでかけください。

■日時 昭和43年11月14日 午前9時30分から午後3時まで

大月線沿いに用地杭を設置 不服の場合は市土木課へ

建設省は、国道139号線(大月線)の用地杭(官民境界の仮杭)を設置したので、不服のある場合は申し出るようにい

市民文芸の作品を 募集中

市民文芸第5号の作品募集を43年12月31日までに行っています。

■募集の種目

- 小説 1人1編で400字詰め原稿用紙500枚以内
- 随筆 1人1編で400字詰め原稿用紙10枚以内
- 脚本 1人1編で400字詰め原稿用紙30枚以内
- 評論 1人1編で400字詰め原稿用紙20枚以内
- 詩 1人2編で1編が40行以内
- 短歌 1人5首以内(官製はがきに)
- 俳句 1人5句以内(官製はがきに)
- 川柳 1人5句以内(官製はがきに)

16ミリ映写機の 講習会

市教育委員会は16ミリ映写機技術者養成講習会を次のように開きます。

■受講の資格

富士市に住んでいる人または市内の事業所に勤務している人か通学している人

■講習の期間

■応募の資格

- 昭和43年4月から12月31日までに創作した未発表のもの
- 市内に住んでいる高校生以上の人または市内の事業所に勤務している人
- 文芸を生業としていない人

■締め切り

昭和43年12月31日

■提出先

市教育委員会社会教育課(和田町2)

■応募の注意

- 住所、氏名、年齢、勤務先、連絡先をはっきり書く(ペンネームは禁止)
- なるべく当用漢字、現在かなずかいで表現する
- 判読しにくいものは失格にする
- 表に「市民文芸作品」と朱記する
- 応募作品は返却しない

※くわしくは教育委員会社会教育課(電話⑤3111内線70・71)へ。

11月16日から11月18日まで。時間は3日間とも6時30分から

■講習の場所

吉原小学校講堂

■講習を受けた人には認定証が渡されます。なお、昭和43年10月1日以前に交付された認定証をもっている人で、認定証の更新研修会(10月16日~18日)に出席しなかった人は、3日間の講習会のうち1日出席すれば認定証の更新を行ないますので出席してください。

優良苗木の契約は 早目に

市林政課は、明春植林をする予定の人は、優良苗木の契約を早くするようにいっています。

県内の苗木の需要状況は、確認苗の生産がスギ776万本(植林見込730万本)、ヒノキ1,203万本(1,105万本)、マツ86万本(43万本)と教学的には満されています。しかし、国有林の30万本の申し込みと県外からの大量の注文で品不足になることが予想されます。

まだ契約を済せていない人はなるべく早く契約をし、苗木を確保するようにしてください。

なお、林業関係のことで悩みごと、相談ごとをおもちの人は、市役所林政課(吉原事務所)へご相談ください。

■場所 富士保健所(津田)

■相談内容 精神薄弱者の心理、職能判定など

■対象 18歳以上の施設入所希望の精神薄弱者と福祉法による援護指導を必要とする精神薄弱者。保護者(なるべく母親)が必ず付き添ってください。

※なお、相談を希望する人は市福祉事務所保護係(吉原事務所)へ連絡してください。

っています。

■区間

富士市青島175番地の1から富士宮市根原字豊住176の1までの19.4*

■申し出先と期間

- 申し出先は市役所土木課(吉原事務所)
- 期間は昭和43年12月1日から3ヵ月間